

根釧の経済概況（令和7年3月末基準）：根室管内

水産：根室管内の水揚量は22千tで前年同期比16.6%増加、金額は124億96百万円で同比81.0%の大幅増加。

①根室管内総水揚高（各年度1～3月）

	根室市		根室管内3町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7年度	4,638	2,879	18,354	9,617	22,992	+16.6%	12,496	+81.0%
R6年度	4,127	2,489	15,579	4,413	19,706	▲30.3%	6,902	▲15.0%
R5年度	6,295	2,100	21,995	6,029	28,290	+15.8%	8,129	+16.2%
R4年度	4,879	2,067	19,551	4,925	24,430	▲14.6%	6,992	▲8.3%
R3年度	6,301	2,378	22,308	5,253	28,609	+20.2%	7,631	+30.6%

②スケソウダラ漁(羅臼 各年度1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7年度	2,855	▲17.1%	389	136
R6年度	3,446	▲20.9%	402	116
R5年度	4,357	+19.8%	513	117

●羅臼のスケソウダラ漁は数量2,855t、金額389百万円でともに前年比減少。数量は約17%減少、単価が前年より20円上昇。
●標津・野付のホタテ漁は、数量11,224t、金額が7,971百万円で前年同期比で数量・金額ともに大幅に増加。他地域での水揚げが少なく引き合いが強いことや米国向け輸出も好況であることから単価が昨年と比べて倍増している。

③ホタテ漁(野付・標津 各年度1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7年度	11,224	+36.0%	7,971	710
R6年度	8,247	▲26.6%	2,981	361
R5年度	11,244	▲13.1%	4,301	383

④コマイ漁(野付・標津 各年度1～3月)

	数量(t)	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7年度	12	1	83
R6年度	379	25	66

酪農：根室管内の生乳生産量は前年同期比で増加、地区別でも全道各地で増加。

根室管内生乳生産量（各年度4～3月）

年度別	数量(t)	前年比
R6年度	1,363,919	+1.3%
R5年度	1,345,263	▲2.0%
R4年度	1,374,039	▲3.0%
R3年度	1,417,218	+3.5%

地区別	数量(t)	前年比
全道	3,953,393	+1.0%
十勝	1,280,404	+1.7%
北網	596,102	+2.1%
釧路	522,557	+1.6%
根室	841,362	+1.2%

生乳生産量（4～3月）※生乳生産量はホクレン調べ

●R6年度根室・釧路管内の生乳生産量は、数量1,363,919t、前年同期比1.3%の増加。全道地区別でもすべての地区で前年よりも増加した。根室管内の下半期月別にもみると、R7年2月のみ減少し、それ以外の月は増加。

根室管内の上半年は、前年の猛暑の影響から受胎率が低下し、分娩時期が例年よりも遅くなったことから乳量が伸び悩んだが、下半期は牧草の質が良く、乳量が安定し始めたことで前年を上回ることができたとされる。目標は達成できておらず、生産抑制以降、牛の個体数が増えていないことも要因の一つとしている。

今後の需給動向等

●ホクレンはR7年8月から飲用向け乳価を4円引き上げることを決めており、飼料代など厳しい酪農情勢を背景とした乳価の引き上げは酪農家へプラス材料になるとしているが、同時に価格転嫁により、消費への不安が拭えず消費拡大への取組が求められる。根室管内では新規就農も数件見込んでおり、さらなる生産拡大に繋げる動きがみられる。また、近年、猛暑の影響から各戸による暑熱対策の重要性が高まっており、乳牛の暑熱ストレスによる生産減少や廃用など、生産ロスをいかに減らすかが喫緊の課題となっている。

○R6年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

R6	10月 +3.2%	11月 +2.2%	12月 +1.3%
R7	1月 +1.5%	2月 ▲1.7%	3月 +0.7%

家畜取引：根室市場での取扱頭数が前年同期比で減少、金額は同比增加。別海市場は頭数、金額ともに前年比減少。

□根室市場取引高

	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R6年度	44,684	▲4.9%	9,786	+5.1%	219
R5年度	47,015	+1.1%	9,304	+3.3%	197
R4年度	46,503	+0.2%	9,002	▲19.1%	193

□別海市場取引高

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R6年度	6,732	760
R5年度	7,500	823
前年比	▲10.2%	▲7.6%

□種類別価格(根室市場)

	R6年10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月
初生ホルスタイン牡 (単位：千円)	5.8	4.9	7.3	30.6	16.8	40.7
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	163.4	163.5	158.3	170.7	184.0	204.6

貿易：輸出額が前年同期比で大幅に減少したが、輸入額が同比增加したため、総額が増加。

(R7年1～3月貿易実績・根室税関支所発表・()内前年同期比)

【総額】35億95百万円(+10.1%) 外国貿易船の入港隻数129隻(前年比+7隻)

【輸出】0.3百万円(▲88.8%)…冷凍魚介類 実績なし(前年も実績なし) 一般機械 実績なし(前年実績あったが全減)
輸送用機器 0.3百万円(▲3.4%)

【輸入】35億95百万円(+10.2%)…生鮮魚介類がほぼ全体額を占める。(+10.2%)

●輸出…一般機械、輸送用機器が減少したため、全体で減少となる。

●輸入…生鮮魚介類が増加したため、全体として増加となる。

根釧の経済概況（令和7年3月末基準）：釧路管内

水産：釧路港1～3月は数量は前年同期比で減少、金額は同比增加。厚岸港は数量、金額ともに同比增加。

①釧路港総水揚高（各年度1～3月、前年比・%）

全体				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7年度	7,350	▲18.2%	1,271	+8.3%
R6年度	8,986	+17.5%	1,173	+27.9%
R5年度	7,642	▲46.7%	917	▲14.8%
R4年度	14,338	+6.6%	1,076	+8.1%
R3年度	13,446	▲15.0%	995	▲9.4%

(うち、スケソ)					
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
	3,425	▲34.2%	268	▲18.7%	78
	5,209	+28.4%	330	+4.6%	63
	4,054	▲67.9%	316	▲51.4%	77
	12,644	+11.3%	651	+13.6%	51
	11,359	▲14.6%	572	▲17.6%	50

②釧路港魚種別水揚(R7年度1～3月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケソ	3,425	▲34.2%	268	▲18.7%
マダラ	3,362	+7.2%	816	+31.3%
イカ	10	▲44.4%	3	▲12.0%
カレイ	257	+20.6%	28	▲21.6%
赤物	8	▲27.2%	9	▲57.1%
ホッケ	1	▲80.0%	0	▲82.0%
その他	287	▲27.1%	144	▲7.3%

③厚岸港水揚高（各年度1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7年度	1,032	+29.2%	825	+19.8%
R6年度	799	▲3.3%	688	+16.3%

④厚岸港魚種別水揚高(R7年度1～3月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
カキ	167	▲8.3%	263	+8.0%
アサリ	238	+17.3%	232	+11.8%
ツブ	7	▲34.3%	17	+75.5%

【釧路港水揚げ】

●1～3月の水揚量は、7,350tで前年同期比18.2%の減少、金額は1,271百万円で同比8.3%の増加。

・魚種別では、スケソ、イカ、赤物、ホッケが数量・金額ともに大きく減少。カレイは数量が前年同期比で20.6%増加、金額は21.6%の減少。マダラは数量・金額ともに同比增加した。

【厚岸港水揚げ】

●1～3月全体の水揚量は1,032tで前年同期比29.2%の増加、金額は825百万円で同比19.8%増加。主要魚種であるカキやツブの数量が前年同期比で減少し、金額は同比增加。ツブの金額は75.5%の大幅な増加となった。

・カキは宮城県産稚貝死滅の影響から市場価格が高値傾向にある。
・アサリは水揚量・価格ともに安定。熊本県産の産地偽装問題以降、需要が集中している。
・ツブは赤潮により資源が減少したため、保護の観点から漁獲量に制限があったことを受け水揚量が減少した。一方、主産地のえりも地方で漁獲量が少なく引き合いが強まったことから単価が上昇し、金額が大幅に増加した。

製紙：市内製紙工場のR7年度1～3月の生産量90,896t、前年同期比1.5%の減少。

観光：R6年度の観光客入込客数は、1,067千人で前年同期比3.5%の増加。

※peachは集計対象外

- 航空（道外）：288千人（前年比+4.7%）
- 阿寒湖遊覧船：84千人（前年比+7.3%）
- 丹頂鶴自然公園：68千人（前年比+11.8%）
- 湿原展望台：95千人（前年比+18.6%）
- MOO：530千人（前年比▲0.7%）

●クルーズ船の寄港回数の増加や、夏の涼しい気候を求めて訪れる観光客やスポーツ合宿実施により、国内外から多くの人が集まり、人流が活発化していることが要因とみられる。

特に釧路湿原展望台の入館者は、コロナ渦前で8万人ほどであり過去10年間で最高となった。訪日外国人の来場が増加しており、クルーズ船の寄港が増加したことが要因とされる。

貿易：輸出額、輸入額ともに前年同期比で減少したことから、総額で同比1.9%の減少となった。

(R7年度1～3月貿易実績・釧路税関支署発表・()内前年同期比)

【総額】299億13百万円（▲1.9%）…釧路港外国貿易船入港隻数74隻（前年比▲10隻）

【輸出】29億58百万円（▲3.2%）…魚介類・同調製品、紙類・同製品が前年比で大幅に増加したものの、鉄鋼くずや動物性油脂が、同比大きく減少したことで、輸出総額も同比3.2%の減少となった。

魚介類・同調製品：4億45百万円（3.3倍）、鉄鋼くず：9億25百万円（▲18.1%）、動物性油脂：7億58百万円（▲37.1%）
紙類・同製品：5億9百万円（+30.2%）

【輸入】269億55百万円（▲1.8%）…魚介類・同調製品や飼料が前年同期比で増加、前年同時期に実績の無かった米が全増となった。肥料やとうもろこし、石炭が同比減少したことから、輸入総額も減少となった。

魚介類・同調製品：12億14百万円（+58.3%）、とうもろこし：89億37百万円（▲1.9%）、飼料：61億40百万円（+9.5%）
石炭：16億23百万円（▲0.1%）、肥料：14億50百万円（▲70.8%）

全国・全道の経済概況（令和7年3月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

全国

■ R6年度4～3月は816千戸で前年同期比1.9%の増加、月別ではR6年10月からR7年1月は同比減少したが、R7年3月は同比大幅に増加。内訳別では分譲以外が同比增加。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R7年 3月	89,432	+39.1%
R7年 2月	60,583	+2.4%
R7年 1月	56,134	▲4.6%
R6年 12月	62,957	▲2.5%
R6年 11月	65,052	▲1.7%
R6年 10月	69,670	▲2.9%

着工戸数(戸)				前年比
R6年度4～3月		816,018		+1.9%
内訳	持家	+1.5%	貸家	+4.8%
	給与	+29.0%	分譲	▲2.3%

■ R6年度4～3月は、22兆263億47百万円で前年同期比6.3%の増加となった。下半期月別では、R6年11月とR7年2月が同比減少。R6年10月が同比19.5%で大きく増加した。

月別		
	工事請負契約額(百万円)	前年比
R7年 3月	3,924,379	+2.1%
R7年 2月	1,557,899	▲5.5%
R7年 1月	1,060,463	+13.7%
R6年 12月	1,629,049	+2.0%
R6年 11月	1,294,892	▲0.3%
R6年 10月	1,743,545	+19.5%

年度別		
	工事請負契約額(百万円)	前年比
R6年度	22,263,047	+6.3%
R5年度	20,938,867	▲2.8%
R4年度	21,542,223	+7.1%

■ R6年度の倒産件数は10,070件で前年比13.3%の増加、負債額は2兆2,525億円で同比7.4%の減少。件数が1万件を超えたのは11年ぶり。中小零細規模の倒産が増加した。人手不足や物価高を要因とする倒産が多くなっている。

年度別推移 (金額単位：億円)				
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R6年度	10,070	+13.3%	22,525	▲7.4%
R5年度	8,881	+30.6%	24,344	+4.1%
R4年度	6,799	+14.9%	23,385	+97.7%
R3年度	5,916	▲19.1%	11,828	▲2.8%
R2年度	7,314	▲13.7%	12,174	+9.8%

■ 全国のR6年度上半期の延宿泊客数は6789万4千円で前年比41.3%の増加。月別では全月で同比增加。国籍別では中国が最も多く、台湾、韓国とアジア各国が続き、3か国で46%を占める。アジア圏のみならず、欧米豪からの訪日外国人の実数も増加している。

R6年度 上期月別推移			R6年度 (4~9月) 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	10,059	+25.5%	中国	13,994	20.6%
8月	10,781	+30.9%	台湾	8,941	13.1%
7月	12,225	+39.6%	韓国	8,399	12.3%
6月	11,235	+46.3%	アメリカ	7,369	10.8%
5月	11,289	+56.2%	香港	3,784	5.5%
4月	12,303	+51.5%	オーストラリア	2,362	3.4%
上期計	67,894	+41.3%	シンガポール	1,513	2.2%
○年度別推移(4~9月)			イギリス	1,490	2.1%
R5年度	48,015	14.5倍	その他	18,671	27.5%
R4年度	3,294	+64.3%	上期合計	67,894	100%

全道

■ R6年度4～3月は30千戸で前年同期比6.3%の増加。下半期月別ではR6年10月のみ同比減少、R7年3月に大幅増加。内訳別では、持家と貸家が同比增加となった。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R7年 3月	3,963	+77.7%
R7年 2月	1,399	+4.4%
R7年 1月	1,007	+16.8%
R6年 12月	2,097	+6.5%
R6年 11月	2,859	+32.4%
R6年 10月	2,562	▲17.1%

着工戸数(戸)				前年比
R6年度4～3月		30,234		+6.3%
内訳	持家	+3.0%	貸家	+15.4%
	給与	▲23.5%	分譲	▲19.5%

■ R6年度は1兆1495億38百万円で前年比8.7%の増加。発注機関別では、北海道のみ同比減少し、それ以外は増加。特に独立行政法人等は前年比43.8%、地方公社は同比3.1倍と大幅に増加した。

年度別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R6年度	1,149,538	+8.7%
R5年度	1,057,456	+12.0%
R4年度	943,425	▲7.0%

発注機関別 (R6年度4～3月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
国	260,975	+0.5%
独立行政法人等	215,070	+43.8%
道	224,649	▲3.0%
道内市町村	324,983	+5.3%
地方公社	3,757	3.1倍

■ R6年度の倒産件数は255件で前年同期比1.1%の減少、負債額は420億円で同比24.7%の増加となった。販売不振による倒産が約75%を占めた。円安による原材料や燃料の価格高騰、人手不足による人件費上昇、またコロナ禍対策で実施したゼロゼロ融資の返済原資を確保できず、事業継続を断念するケースが見られた。

年度別推移 (金額単位：億円)				
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R6年度	255	▲1.1%	420	+24.7%
R5年度	258	+25.2%	337	+7.5%
R4年度	206	+45.0%	313	+62.5%
R3年度	142	▲15.9%	193	▲6.9%
R2年度	169	▲15.9%	207	▲36.9%

■ R6年度上半期の延宿泊客数は、3,573千人で前年比36.4%の増加。月別では全月で前年比を上回った。国籍別では上位5か国をアジアが占め、全体の約75%となる。クルーズ船寄港の増加や、各地のイベント開催の活発化が図られたことから、道全体で増加した。

R6年度 上期月別推移			R6年度 (4~9月) 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	527	+42.5%	韓国	979	27.4%
8月	727	+37.9%	台湾	870	24.3%
7月	805	+27.0%	中国	398	11.1%
6月	602	+32.2%	香港	275	7.7%
5月	493	+42.5%	シンガポール	159	4.4%
4月	418	+45.7%	アメリカ	148	4.1%
上期計	3,573	+36.4%	タイ	106	2.9%
○年度別推移(4~9月)			マレーシア	49	1.3%
R5年度	2,619	41.8倍	その他	586	16.4%
R4年度	62	2.1倍	上期合計	3,573	100%

根釧の経済概況（令和7年3月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

根室

●R6年度は38戸で前年比46戸の減少。利用別にみると持家が多く、貸家は前年から大幅に減少した。

□根室市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R7年	3月	6	+3	2.0倍
R7年	2月	3	+3	全増
R7年	1月	2	0	前年同数
R6年	12月	1	▲1	▲50.0%
R6年	11月	3	+3	全増
R6年	10月	2	▲33	▲94.2%

年別・利用別						
各年度(4~3月)	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R6年度	34	3	0	1	38	▲54.7%
R5年度	34	46	2	2	84	+7.6%
R4年度	70	4	0	4	78	+4.0%

●R6年度4~2月は244億63百万円で、前年比3.8%の減少。工事種類別にみると、一般土木と建築が同比減少、それ以外は増加した。

年度別		
各年度(4~2月)	前払保証請負額(百万円)	前年比
R6年度	24,463	▲3.8%
R5年度	25,455	—

工事種類別 (R6年度4~2月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	14,609	▲4.1%
舗装	1,863	+40.8%
建築	3,637	▲25.4%
電気	1,247	+22.9%
管	845	+28.4%

※工事種類別集計の終了に伴い、次回以降、年別前払保証請負額のお知らせのみに変更いたします。

●R6年度根室管内の倒産件数は2件、負債額は252百万円で、件数、金額ともに前年から減少した。うち根室市は、倒産件数が無く、管内2町で販売不振を原因に倒産した。

年度別				
【根室管内】		【うち、根室市】		
各年度(4~3月)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R6年度	2	252	0	0
R5年度	5	1,377	2	1,192
R4年度	3	379	2	64
R3年度	1	13	0	0
R2年度	8	2,065	1	22

●R6年度上期の訪日外国人延宿泊客数は7,728人で、前年比46.6%の増加。上期全月で前年比増加しており、国籍別では、台湾、中国、香港が多く3か国で半数以上を占める。国籍別10位以内に、アメリカやイギリス、オーストラリア、フランスの欧米の国々が上位に来る特徴がある。

R6年度 上期月別推移			R6年度 (4~9月) 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	1,367	+45.2%	台湾	2,281	29.5%
8月	1,641	+69.0%	中国	1,254	16.2%
7月	1,653	+31.1%	香港	767	9.9%
6月	1,623	+66.1%	アメリカ	431	5.5%
5月	1,127	+39.6%	シンガポール	387	5.0%
4月	317	+0.9%	韓国	317	4.1%
上期計	7,728	+46.6%	イギリス	208	2.6%
○年度別推移(4~9月)			ロシア	188	2.4%
R5年度	5,270	10.6倍	その他	1,895	24.5%
R4年度	495	2.1倍	上期合計	7,728	100%

釧路

●R6年度は403戸で前年比93戸の減少。持家、貸家、分譲が前年から減少。

□釧路市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R7年	3月	36	+16	+80.0%
R7年	2月	12	▲14	▲53.8%
R7年	1月	12	▲12	▲50.0%
R6年	12月	61	+38	2.6倍
R6年	11月	39	0	前年同数
R6年	10月	23	▲46	▲66.6%

年別・利用別						
各年度(4~3月)	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R6年度	203	171	1	28	403	▲18.7%
R5年度	223	234	1	38	496	+7.3%
R4年度	269	145	1	47	462	▲23.7%

●R6年度4~2月は523億14百万円で、前年比20.9%増加。工事種類別では一般土木のみが同比で減少し、それ以外の種類は全て増加した。

年度別		
各年度(4~2月)	前払保証請負額(百万円)	前年比
R6年度	52,314	+20.9%
R5年度	43,245	—

工事種類別 (R6年度4~2月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	19,766	▲10.3%
舗装	2,602	+12.1%
建築	18,647	2.0倍
電気	4,152	+26.1%
管	2,370	+32.3%

●R6年度釧路管内の倒産件数は21件、負債額は974百万円で前年から件数は増加、金額は減少した。うち釧路市は件数20件負債額は891百万円で前年からともに増加。

年度別				
【釧路管内】		【うち、釧路市】		
各年度(4~3月)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R6年度	21	974	20	891
R5年度	17	1,087	14	794
R4年度	11	2,895	7	1,914
R3年度	9	993	8	906
R2年度	11	933	5	374

●R6年度上期の訪日外国人延宿泊客数は65,680人で、前年比15.4%の増加。単月では4月のみ同比減少、その他の月は増加。国籍別では、上位5か国に東アジアの国が連なり、中でも台湾は4割弱を占めている。アメリカやフランス、オーストラリアなど欧米も増加傾向にあり、ATの周知が進んでいるとみられる。

R6年度 上期月別推移			R6年度 (4~9月) 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	10,808	+7.1%	台湾	24,835	37.8%
8月	13,024	+24.1%	中国	7,979	12.1%
7月	16,236	+25.5%	香港	5,983	9.1%
6月	11,334	+20.5%	シンガポール	4,436	6.7%
5月	11,175	+3.0%	韓国	3,532	5.3%
4月	3,103	▲1.6%	アメリカ	2,996	4.5%
上期計	65,680	+15.4%	フランス	1,729	2.6%
○年度別推移(4~9月)			オーストラリア	1,389	2.1%
R5年度	56,907	28.2倍	その他	12,801	19.4%
R4年度	2,015	+94.1%	上期合計	65,680	100%